

入院診療計画書 「

さんへ」

(病名) 新生児呼吸障害 (症状)

(説明日) 年 月 日

(本人・家族)

確認サイン

経過	入院時	コット(赤ちゃん用ベッド)へ移るまで	退院にむけて
到達目標	・全身状態(呼吸・循環・体温)が安定する	・保育器温度を徐々に下げていき、体温の低下がなく、コットに移ることができる	・育児者が基本的育児手技を習得し退院後の生活についてイメージができる
日時	年 月 日	呼吸状態が落ち着いたら、コットに移ります	推定される入院期間は 日間です 退院予定日: 年 月 日頃
治療薬剤 (点滴・内服)	必要に応じ、酸素投与を行います 点滴を行います 検査結果により、黄疸に対して光線療法を行います	全身状態が落ち着いたら、人工呼吸器や酸素、点滴を中止します	なし
処置	保育器に入り、管理します 心拍や呼吸状態を見るためにモニターを装着します 毎日体重を測定します	体温に注意しながら、コット移床にむけて保育器の温度を下げていきます	保育器からコットに移ります 呼吸器心拍モニター装着
手術	□無・□有 (術式:)		
検査	血液検査、細菌培養検査、尿検査、レントゲン検査を行います	適宜血液検査を行います 同意が得られましたら、先天代謝異常検査を行います	同意が得られましたら、聴覚検査を行います
安静度・リハビリ (OP・PTによる指導も含む)	保育器に入り、全身管理します	呼吸が落ち着いたら、抱っこすることができます	コットに移ったら、いつでも抱っこすることができます
栄養	特別な栄養管理の必要性 □有 ・ □無 点滴で栄養を補給します	全身状態が落ち着いたら、母乳又はミルクを開始します 消化の状態、呼吸状態に注意しながら、直接母乳を飲ませる事ができます	母乳又はミルクの量を少しずつ増やし点滴での栄養を中止していきます 直接母乳を飲ませる事ができます
清潔	汚染したところを部分清拭します	毎日全身を拭き、清潔を保ちます 点滴がとれ、医師からの許可がでたら沐浴を開始します	毎日沐浴します
排泄	尿量に注意しながら、こまめにオムツを交換します	こまめにオムツを交換します 状態が落ち着いたら、看護師と一緒にオムツ交換をします	直接オムツの交換ができます
患者・家族への説明	主治医が入院治療計画や病状について説明します 看護師が入院に際して、必要な事項や入院生活について説明します 治療・福祉などのご相談がある場合は、看護師か相談員にお尋ねください	状態によって、医師から病状の説明・治療方針の説明を行います 看護師から赤ちゃんの様子やケア内容の説明を行います ご相談しながら退院後の生活について説明していきます	退院後の生活について説明していきます (環境・栄養・清潔・沐浴・成長発達・受診・点眼・その他) 必要に応じ育児指導を行います

※ 症状により、予定と異なる場合があります。わからないことがあればお気軽に主治医や看護師にお尋ねください。

※ なお、この計画書を病院側から受け取られた後は、患者さんの責任の下、保管していただきますようお願い申し上げます。

(病棟 号室) 主治医

印 看護師署名

担当者署名